

東総工 P T A 会 報

PTA 広報委員会
事務局
旭市鎌 数字川西 5146
TEL 0479 (62) 2522
FAX 0479 (62) 4425
平成 25 年 3 月 8 日 発行



青春の宝物

PTA 会長
高橋 豊

卒業生の皆さん、御卒業おめでとう。今から三年前、期待と不安を胸に入學した学び舎で、青春を謳歌出来たでしょうか。

上杉鷹山の言葉に、「為せばなる為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」というのがあります。どんなことでも、自分は出来るんだ、やれるんだ」との強い意志を持って、物事は必ず成功するということです。皆さん、この三年間を振り返ってみてください。苦しい試練に耐えた部活動やクラブ、スーパースタート大会もそつちで済ませました。その勳章は、皆さんの心の中にいつまでも輝いてることでしょう。

これから、社会という大きな海原に出航する皆さんは、航路こそ違いますが目標とするものは同じなのです。迷ってもいい、遅くてもいい、小さな船のまま

でもいい、ただ人生の目標としたものを簡単には諦めないで欲しいと考えます。同じ時間をシェアした友達は、皆さんの良き理解者であり、良きクルーでもあるのですから、友情は絶対に絶やさないでください。もう一度言います。為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成さぬは人の為さぬなりけり。

保護者の皆様には卒業式を迎えられましたこと心よりお喜び申し上げます。おめでとうございます。この度、お子様は立派な青年となられ母校からはばたいてゆかれます。是非とも、親としてではなく人生の先輩として、これからも色々とおアドバイスを頂けたら有難いことと思っております。ナンバーワンよりもオンリーワンの人間の方が魅力的だと思っております。そのことは、保護者の皆様が一番理

解していることと存じます。最後に会員の皆様、平成二十四年度の P T A 活動への御理解と御協力を承り、厚く御礼申し上げます。大変ありがとうございました。



卒業を迎えて

同窓会会長
加瀬 義夫

卒業おめでとうございます。保護者の皆様には卒業を迎えられたことを心よりお喜び申し上げます。

昭和三十八年に誕生した母校は、本年創立五十年という記念すべき年を迎えました。創立当時は名も知れない工業高校からどのような人が来るかと、企業は不安でした。先輩の活躍により現在では地元はもとより県内外においても高い評価を受けております。我々は母校創立に御尽力して下さいました先人の方々、学校の歴史・伝統を作ってくれました先生・先輩方に改めて感謝をした



TIME TO SAY GOODBYE 旅立ちの時

校長
山田 勝彦

と思います。また今年度も文化部では、ロボット相撲全国大会出場・運動部ではバレーボール部が関東大会初出場等々新たな歴史を作ってください。これからは別々の進路となり、新しい出会いがあると思います。良い人間関係を作り地域・社会に貢献できる人になるよう歩んで下さい。

卒業おめでとうございます。卒業生並びに保護者と御家族の皆様にご心よりお祝い申し上げます。

また、PTA 会員皆様には今まで賜りました御理解と御協力に深く感謝申し上げます。大切なお子様をお預かりして教職員一丸となって学習活動・部活動をはじめとする様々な教育活動に取り組んで参りました。本日、第四十八回卒業生一八六名を送り出せることは、この上ない喜びであります。本校は昭和三十八年創立以来、卒業生は、累計一九八八名を数え、県内はもとより全国及び海外でも活躍しています。県立

高校として優秀な人材を地域社会に輩出することは最も重要な使命であり、新たな卒業生の活躍を大いに期待しています。国内では経済が活性化する兆しが見えてきていますが、東日本大震災からの復興にはまだ長い時間がかかりそうです。そして何より人材が不可欠です。特に優秀な工業技術者なくしては国の復興はできません。卒業生は是非その原動力となって日本の未来を切り拓いてください。

また、世界に眼を向けると「中国、韓国、北朝鮮、ロシアなど近隣諸国との外交問題」や「中近東や北アフリカでの紛争やテロ」など国際情勢が非常に不安定な状況にあり、いっどこで何が起るかわからない激動の時代です。

日本は資源のない国です。海外から原料や燃料を輸入し、優れた製品や技術を輸出して経済を発展させてきました。これからも外国との関係は、さらに重要となります。時代は国際感覚を身につけて力強く行動できる人材を要求しています。本校はこれからも千葉県と日本を支える工業人材の育成に努力を続けていく所存です。地域の皆様には引き続き御理解と御支援を賜りたくお願い申し上げます。卒業生の皆さん、高校卒業は人生の「旅立ちの時」です。就職・進学いずれの道に進んでも

これまでの高校生扱いではなく、大人と同じ立場で社会生活をすることにになります。学校生活とは違い、社会的な責任が重くなります。仕事や勉強でも重大な問題に何回も遭遇することがあるでしょう。大切なことは、どんな困難にぶつかっても決して「逃げない」「あきらめない」ことです。皆さんには本校で三年間培った様々な知識・技術・技能という強い武器があります。これを基礎にしてスキルアップに努め、周囲の人と協力して困難の壁を突き破ってください。そして人格を養い、自己実現に向かって邁進することを心から願っています。

東総工卒業生の「誇り」と「使命」を胸に実社会で大いに活躍することを祈念し、新たな門出を祝福します。

結びに歌の一節を引用して贈る言葉とします。

いままで 見たことも
おとされたこともない場所を
僕は これから
あなたとともに 航海していく
船に乗って 海を越えて
・(中略)・
あなたとともに 行こう
あなたとともに 旅立ちよう

※サラ・ブライトマン

「TIME TO SAY GOODBYE」
より

三年生に贈る言葉

生徒会長 12 木村拓己

三年生のみなさん、御卒業おめでとうございます。

ようやく暖かさを感じる季節となり、そう遠くないところに春が来ているのだと実感します。それと同時に三年生が卒業してしまうことを身にしみて感じています。この二年間、ほとんど先輩方に頼ってばかりでしたのは少し心細くもあります。ですが、みなさんは私たち後輩に多くのことを教え、残して下さいました。皆さんが卒業した後もその教えを糧に、より良い学校生活を送ることができるよう。卒業し、今のみんなと別れてしまうけれども一人一人が仲間の事、東総で学んだことを忘れずにいれば、何事も乗り越えられると信じています。そして、新しい出会いと、自分自身の夢の実現、それに楽しい人生を送れることを願っています。

卒業生に贈る言葉

最後の挨拶

三学主任 谷下田 昇

皆さんが歩んだ三年間。長く感じられる人、短く感じられる人千差万別だと思いますが、今

まさにその三年間が終わろうとしています。高校はよくスーパーマーケットに例えられます。東総工業マーケットであなた方は今何を籠の中に入れることができましたか。たくさん買いたいものができた生徒はそれをこれからは使うときです。でも正しく使用しなければ、せっかく買った物も無駄になってしまいます。正しく無駄なく使用してください。また籠の中にほとんど物が買えなかった生徒。次のステージで何か自分にとって大切な物を購入してください。購入するためには目的がなければ買えませんので目標・目的を作ることです。また籠の中には目に見えない物もあります。それは人間性です。これからは自分の責任で歩んでいく道です。失敗は成功のもと。失敗を恐れずにチャレンジし続けてください。最後に私の好きな言葉を贈ります。

「一所懸命」一つの所に命を懸ける。一所懸命生きてください。歩んでください。

三年間を振り返って

M3 木津雄介

私はこのクラスの会長になったときに絶対にやり遂げたい目標がありました。それは、「四十人全員そろって卒業」というものでした。その目標は簡単そうにみえてとても大変なことでした。最初は、静かなクラスで

仲がいいとは言えませんでした。しかし、校外学習や文化祭、スポーツ大会と学校行事を重ねるごとに、その仲が良くなりまわりが出てきました。修学旅行をむかえるころには「笑顔の堪えないクラス」となっていました。この修学旅行はみんなにとって、いろいろな体験や他県の文化に触れ、友達同士の関係もより一層深まり一生に残る思い出となったと思います。そして、最後の学校行事をむかえることになりました。卒業証書授与では、四十人全員の卒業証書もらい三年間の学校生活を終わりたいと思います。頼りない会長だったかもしれないけど、最後までついてきてくれてほんとうにありがとう。最後に、このどうしようもないクラスをこま

で支えてきてくれた藤澤先生には感謝の気持ちでいっぱいです。ほんとうに今までありがとうございました。わたしはこのクラスの一員になれてよかったです。

三年間の感想

M3担任 藤澤 宏有

皆さん、高校生活は有意義に過ごせたでしょうか？

あらためてこの三年間を振り返ってみると、一番印象に残っているのは、まとまりのあるクラスだったということです。特に学校行事で強くそれを感じることが多くありました。例え

ば、今年度の文化祭のお化け屋敷製作では自分が他の仕事でなかなか動けずあまり手伝えな中でも、就職試験等が控えているのに夜遅くまでみんな協力しあい、完成させることが出来ました。その後の文化祭打ち上げ会やスポーツ大会等でも同様の場面が見られ、この結束力がM3というクラスの強みなんだなと思います。また、ただ頑張ったというだけでなく入賞して結果を残していることにも感心させられました。

勉強面ではテスト一週間前になると、放課後にパソコン室へ集まり分からないところを教えあっていた。そのことがクラス内で脱落者を出さずに四十人揃って卒業を迎えられた最大の要因だと思っています。

他にもいろいろな事がありました。したが、楽しかった高校生活もこれで終わりです。思い出もたくさんあると思いますが、それらを忘れてしまうぐらい充実した人生を送れるよう新たな進路先で頑張ってください。これからの活躍を期待しております。

三年間を過ごして

E3A 大和田隆次

私たちが東総工業高校に入学して早三年が経ちました。電気科A組で三年間生活してきましたが、正直言うところのクラスは

あまり好きではありませんでした。その理由は、まとまりがなくて授業中もうるさい。生活していく上でストレスが溜まること
が時々あったからです。クラス
でまとまって何かを成し遂げた
こともほとんどなかったと思
います。ですが、一つだけ強く印
象に残っていることがあります。
それは今年度の文化祭です。私
たちのクラスは、優秀賞を獲
得することができました。これは
昨年や一昨年での企画ではと
も考えられなかった結果です。
この時初めてクラスがまとま
ったと思いました。そして、こ
のクラスに所属していたからこ
その自分がいるのだと気付きま
した。

三年間本当にありがとうございました。

思いやり

ES3A 担任 越川 恭伸

人間関係の中で、もっとも大切なことは「相手を思いやる心」だと思ふ。言葉や作法が素晴らしいけれども、相手を思いやる気持ちがなければ、それは相手の心に響かない。野球のキャッチボールは基本練習の一つであるが相手の胸に投げるのは簡単なようで難しい。相手が自分の胸に投げられないなら、自分が動いて胸で捕ればいい。捕り手が動けば悪送球も帳消しになる。投げ手も気が楽になっていい球が

行くようになる。誰もが一人前の社会人であろうとするならば常識として備えておかなければいけない「人の道」だと思ふ。
最後に、君たちに陰で支えてくださった方に感謝の気持ちを忘れずに下さい。三十九名の皆さん、御卒業おめでとうございませう。

三年間を振り返って

ES3B 伊藤 勇喜

僕たちが入学してからもう三年間が経ちました。この三年間は長くも感じましたが、とても短くもありました。この三年間で僕たちはたくさん学びました。電気科の特性や電気で動く物の構造等の専門的なことや、パソコンを使い製図をしたり、プログラミングなどを学びました。またスポーツ大会や文化祭では、目標に向かってみんなで協力していくなかで、仲間の大切さを学びました。そしてこの三年間で一人ひとりが成長したと思ふます。入学した頃はまだまだ子供でしたが、卒業が近づくにつれて、就職のことに意識し、少しずつ大人になっていきました。また成長して行く中でたくさん思い出をみんなで作りました。一番の思い出は修学旅行です。修学旅行は、前からずっと楽しみにしていました。阿蘇の雄大な景色を見

て、一生の忘れられない思い出となりました。他にもたくさん楽しかったことや辛かったこともありませうが、全てが高校三年間の良い思い出です。この三年間みんな楽しんで過ごせたのは、担任の狩野先生や佐瀬先生をはじめお世話になった先生方のおかげです。入学して今まで色々なことがありましたが、東総工業電気科に入学して良かったです。これからは自分の決めた進路へ進み、離ればなれになつてしまひますが、今まで教えていただいたことを生かしてがんばっていきます。三年間色々迷惑をかけましたが、本当にありがとうございました。

ヤンキー時代の到来

ES3B 担任 狩野 圭亮

私達が東総工業高校に入学してから、もう三年が終わろうとしています。この三年間の高校生活はかけがえのない思い出です。楽しい思い出もあれば、辛い思い出もありました。私が一番成長したと思ふことは、何事に対しても集中して取り組めるようになったことです。特に専門科目に対して強い興味、関心をいだきました。まず情報技術科なので、パソコンの構造やプログラミングなど専門的なことや、電気科の特性、各実習など工業高校ならではのことを学びました。

さて、先の世紀は人や経済・文化が大都市に集中し、地方社会はそれぞれの特色・魅力が大きき失いました。しかしヤンキーはこのトレンドの逆を貫きます。日本古来の美徳を遵守する姿勢、祭りや行事などに積極的

三年間を振り返って

13 林 孝亮

最後に、文化祭の焼きそば 1000 食、良かった、ありがとうございました。

親や先生方、周の人達に支えられて、今の自分がいると思ふます。東総工業高校の情報技術科に入学してよかったです。先生方には三年間たくさん迷惑をかけてしまいました。今では感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。そしてたくさん仲間達が活躍してくれたいことを祈っています。

卒業生へ

13 担任 高橋 洋州

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。この三年間の様子を振り返ると、いろいろなことが思い出されます。卒業生諸君にとっても、楽しかったことや辛かったことなど、多くの思い出があることではないでしょうか。中には、つまらなかつたことや辛かつた思い出ばかりだといふ人もあるかもしれません。しかし、この学校での三年間は、これから皆さんが入っていく世界に比べたら、楽園のようなものだと思います。ですから、もし本当にこの三年間の

高校生活が辛く大変なものだったと感じている人がいるとしたら、その人は余程覚悟を決めていかなないと、卒業後の世界は更に辛いものになってしまうと思いますので、そうならないように頑張ってください。また、楽しいことがたくさんあったという人は、それらの経験や思い出を糧に、今後も更に楽しい生活が送れるよう頑張ってください。

卒業後、たまには学校に顔を出して、仕事や進学先の学校の様子を教えて下さい。先生方もきつと温かく迎えてくれると思います。その時には、生徒だったときには見えなかったものが、きつと見えてくるでしょう。楽しみにしています。

三年間を振り返って

P3 大野翔子

私達がこの東総工業高等学校に入学してからもう三年が経ちます。今思うとこの三年間はとても短く感じます。入学当初は不安ばかりだった高校生活もクラスメイトや先生方のおかげでとても充実したものになりました。

建設科というクラスは東総工業の学科の中で一番個性が強く変わった学科だと思います。私たちのクラスは特に個性の強い人たちが集まっています。毎日常い声の絶えないクラスでした。ですが授業中も騒いでしまうこと

もあり、毎日のように先生方からお叱りを受けていました。成績もどの教科も良い訳ではありませんでした。怒られることも多く、だめなところも沢山あるクラスでしたが私はそんなこのクラスがとても好きでした。私はこのクラスの良いところも沢山知っています。例えば何か先生から頼まれれば文句を言いながらもちんと手伝い、困っているクラスメイトがいれば話を聞いてあげたりすることもできる優しい人たちです。そんな皆が私は大好きです。

これから私達は別々の進路を進むこととなります。先生方には沢山のご迷惑をおかけしてしまいました。それでも見放さずに最後まで面倒を見て下さってありがとうございました。お世話になった先生方や両親に感謝し、四月から始まる新生活を頑張っていきたいと思えます。最後にクラスの皆へ。毎日とても楽しかったよ。三年間、本当にありがとうございました。

贈る言葉

P3担任 今井元衛

卒業生のみなさん、保護者のみなさん、ご卒業おめでとうございませう。

皆さんには今日までの三年間のつらいおもいでや楽しい思い出が走馬燈のようにかぶことでしょう。

建設科の卒業生には一年間ですがご縁があり担任をさせて頂きました。P3のホームルームでは毎日大きな声で注意を受けた事と思います。明日からは社会人になり、この東総工業高校の先生方の様に注意をして頂けないでしょう。

さて、NHKで放送された番組によれば、前人未踏の二大会連続短距離三冠を果たしたウサイン・ボルト氏ですが『伝説になる』との言葉等、自信満々の姿を見せていますが彼は『みんな、おれが苦もなく走っていると言っけど、来る日も来る日も死ぬほど練習しているんだ』死ぬほど苦しいよ』と言っていました。私はウサイン・ボルト氏が真剣に自分自身と闘い一生懸命、努力している姿に感動しました。苦難に直面している時は人の心が鍛えられている時であると思えました。

みなさんはみなさんの人生の目標に向かい、一生懸命努力してゴールを目指してください。『一生懸命努力』という言葉で卒業の饞に贈ります。

本校の進路状況

進路指導部

二月下旬の時点で、卒業予定一八六名の内、一二四名の就

職・五八名の進学が決定しています。今年度は、昨年度に比べて就職者が五名位増加しております。別表に、今年度の就職先と進学先をまとめましたのでご覧ください。

今年の就職状況ですが、リーマンショック以降の経済危機から始まった就職難に、欧州の金融危機、新興国の台頭、尖閣問題等も加わり、厳しい状況が続いています。このような状況下で条件の良い求人企業に応募者が集中し、本校の就職希望者は一回目の採用試験で六割の生徒しか内定が得られませんでした。不合格者の中には、二回目以降受験できる求人へ期待できないと判断し、進学に進路変更した生徒もいました。残りの未内定者については、募集を継続している求人を探して試験を受けてもらいました。就職指導は長期戦になり、現時点でも数名の生徒が活動中です。

一、二年生の就職希望者は、雇用危機がしばらく続くことを覚悟して例年以上の試験対策が望まれます。

大学合格体験記

筑波大学

13 大久保 隼人

私が選択する際に参考になったのは大学のシラバスとオープンキャンパスで、情報・電気・機械などの分野を広く学ぶこと

ができるかを参考にしました。オープンキャンパスでは大学の雰囲気や立地、在校生の方々の様子などを知ることができ、進学を希望するならば必ずオープンキャンパスに行き、気になる点は質問するべきだと思います。

私は、二つの大学のオープンキャンパスに参加したので、片方の大学の雰囲気や自分の考えていたものと違うと感じ、筑波大学へ進学することを決定しました。

私の進学先は入試が十月に行われるため、夏休み前から自分の今までしてきたことや将来やりたいことなどを書きだして面接の対策をしました。私は普段から自ら意見を言うことを心がけていたのですが、実際に面接練習をしてみたら、自分の言いたいことを相手に伝えるのが難しくとても苦労しました。どの大学の試験でも面接は実施されているので物事を自分で考え、自分の意見を持ち、人と議論するという習慣を身につけたほうが良いと思います。また、手を抜いて挑んではいけません。自分は何が出来て、将来何がやりたいのか、そのためには大学で何を学ぶべきかを中心に考え、対策を立てたほうが良いと思います。

最後に、私はロボット技術者になるために進学をしました。

進学者 58名

筑波大学	1
千葉科学大学	6
千葉工業大学	5
敬愛大学	1
帝京平成大学	1
大正大学	1
千葉商科大学	1
植草学園大学	1
日大短期大学部	1
千葉職業能力開発短期大学校	1
千葉県立旭高等技術専門学校	7
千葉調理師専門学校	2
大原簿記公務員専門学校	1
千葉県自動車大学校	1
国際トラベル&ホテル専門学校	1
ユニバーサルビューティーカレッジ	1
国際理工情報デザイン専門学校	3
日本外国語専門学校	1
成田国際福祉専門学校	3
東京コミュニケーション専門学校	1
国際医療福祉専門学校	3
中央工学校	1
千葉リゾート&スポーツ専門学校	1
ちば愛犬動物フラー学園専門学校	1
日本自動車大学校	7
日本電子専門学校	1
船橋情報ビジネス専門学校	4

就職者 124名

古河ユニック(株)	2
出光ユニテック(株)	1
日本ヒルピガー(株)	1
(株)ワノツテックジャパン	2
(株)フジクラ	1
サンヨーエアサービス(株)	1
日鉄住金プラント(株)	3
ヒゲタ醤油(株)	2
大阪富士工業(株)	2
三菱ガス化学(株)	1
寿産業(株)	1
多古町農業協同組合	1

日清紡ケミカル(株)	1
東京丸善工業(株)	1
(株)ハセックギア	1
(株)クラレ	1
下村特殊精工(株)	1
三井造船(株)	1
村岡ゴム工業(株)	1
朝日工業(株)	1
東京ガス(株)	1
中国木材(株)	5
ウィル・コーポレーション(株)	1
ウェーブロックインテリア(株)	1
(株)テラモト	1
ヤマサ醤油(株)	2
佐川急便(株)	1
(株)銚子鉄工所	1
ニチノサービス(株)	1
東日本旅客鉄道(株)	2
青木油脂工業(株)	1
(株)アサヒ	1
コープ果汁(株)	1
日立粉末冶金(株)	1
東洋合成工業(株)	2
リンテック(株)	1
マルゼンコープ(株)	1
三菱電機ビルテクノサービス(株)	1
三水鐵工(株)	1
(株)イワイ	1
日華化学(株)	1
(株)カナヤ食品	1
住金テクノロジ(株)	1
古谷乳業(株)	1
(株)サカイ引越センター	1
東武インターテック(株)	1
鹿島南共同発電(株)	1
(株)セイミヤ	1
宝醤油(株)	2
アドレスサービス(株)	1
パラマウントベッド(株)	1
ネグロス電工(株)	1
山武郡市農業協同組合	1
(株)トーア・アイアール	1

日本フォームサービス(株)	1
JFEメカニカル(株)	1
(株)空港保安事業センター	1
空港協力事業(株)	1
JX日鉱日石ANCI(株)	1
ちば醤油(株)	1
(株)山口電気商会	1
(株)ニチボウ	1
(株)パシフィックカーゴ	1
すこやかリハビリケアセンター	1
新京成電鉄(株)	1
デンカポリマー(株)	2
利根自販機サービス(株)	1
旭トステム外装(株)	1
和信産業(株)	1
米屋(株)	1
美和電気(株)	1
海村医院分院	1
ちばみどり農業協同組合	1
(株)カワカ	1
成田空港警備(株)	1
花王(株)	2
三洋コンクリート工業(株)	1
(株)丸作自動車	1
(株)つくも	1
千葉昭和サービス(株)	1
芳源ファーム(有)	1
鹿島石油(株)	1
(株)鈴木組	1
鈴木久建設(株)	1
鹿島旭自動車ボデー(株)	1
向井建設(株)	2
金子架設工業(株)	1
東京ガスパイプライン(株)	1
(株)テンサン	1
日本メクトロン(株)	1
旭化成集合住宅建設(株)	1
(有)フジリホームサービス	1
千葉県職員	2
匝瑳市横芝光町消防組合職員	1
自衛隊	1
自営・縁故	11

目的が進学で終わっては意味がありません。進学先を決める三年の夏休みまでじっくり考えるべきです。進学の際に合格するの、悩むこともあると思います。挑戦せずに合格することはありえません。迷うなら挑戦す

るべきです。とにかくなんでも良いから考えて考えて考え抜き、そしてそれを人に話そう。議論しよう。反論も聞き考え抜こう。その結果を面接で話そう。必ず大学に合格できる。

私は、高校入学前から就職したいと考えていました。それで東総工業に入社したのです。で

就職内定体験記

(株)フジクラ

13 伊藤 智子

ですが、入学してから聞いた話は「女子の就職は少ない」ということでした。そこで、一年生のころから勉強に力を入れてきました。資格も挑戦できるものも挑戦していきました。

緊張しました。緊張しすぎて笑いが止まらないほどです。面接ははきはきと答えることができ、練習のおかげでつまることがもなく満足して終えることができました。適正検査は午後に行われましたが、面接の緊張から解放されたせいかもしれません。リラックスして受けることができました。よかったです。試験の手ごたえはそれなりにあったので後は結果を待つのみでした。ですが、慢心しすぎてはいけません。その時の時を覚えてはいましたが、文化祭の準備もあり次の仕事を探すことはできませんでした。受かったと話を聞いたのは文化祭の最中でした。その時すでに試験から二週間は過ぎていました。正直最悪の場合を考えざるを得ませんでした。そのせいかあつて合格の話聞いたときはとても嬉しかったです。

大事だと聞き、九月に入ってから、情報技術科の先生方にも面接練習を付き合っていたいただきました。おかげで、当初は沈黙ばかりだった私もすらすらと答えられるようになりました。試験当日はかなり

この不況の中内定をいただけたのは、とても幸運でした。これは私一人の力ではありません。先生や友人のサポートがなければここまでたどり着けなかったです。ですので、先輩の皆さんは自分の進路を決めたらひたむきに頑張ってくださいと思います。くじけそうになっても先生方や友人が助けてくれるはず。一人で頑張ることなく周りも頼ってください。そうすればそれすらも自分の頑張る気力になると思います。

PTA 研修旅行

総務部 田村信義

本年度の P T A 研修旅行は、十二月十六日(土)に企画され、東京スカイツリー・浅草方面へ参りました。高橋 P T A 会長をはじめ、多数の保護者の方の参加に加え学校職員も参加し、総勢二十九名での出発となりました。

学校出発後、横芝光インターから京葉道路を経由し、最初の見学場所である『東京スカイツリー・東京ソラマチ』へ向かいました。新しい東京の観光名所として昨年七月にオープンしたスカイツリー内の『千葉工業大学スカイツリーキャンパス』を見学し、東日本大震災の際に活



躍したロボットの見学や最新テクノロジーに触れ、驚きと感動をしました。そして本命の展望台へ。高速エレベーターで移動し、足下に見える東京の景色・風景を眺めました。ただ当日はいにくの曇天で、はるか彼方までの景色を見ることが出来ず残念でした。

東京スカイツリー・東京ソラマチを後にし、『昼食・浅草等自由散策』へと向かいました。老舗の美味しい昼食をいただき、その後は自由散策へ。再度スカイツリー方面へ行ったり浅草を散策したり、ゆっくりと時間を過ごすことができました。

浅草を後にして帰路へ。日も暮れるのが早い時期で、辺りは真つ暗な時の到着となりました。お土産を手にして降車した参加者からは、有意義な一日を過ごせた表情をうかがうことができました。

年の瀬のお忙しい中、研修旅行に参加していただきありがとうございます。この場をお借りして皆様の御協力に感謝申し上げます。

芸術鑑賞会

生徒会 E2A 加瀬将喜

去年の十二月十三日に東総文芸会館で行われた芸術鑑賞会では、水嶋一江さん率いる五人のメンバーによる音楽『重本音楽事務所』の「ストリンググラフィ

」を視聴させて頂きました。

ストリンググラフィは、糸電話の原理を応用して糸と紙コップのみで作られた楽器で、糸を擦って音を出すというものです。

モーツァルトの『アイネクライネ・ナハト・ムジーク』から始まり、『世界にひとつだけの花』などの有名な曲、そして、水嶋一江さん作曲のオリジナル曲、『森の記憶』『青磁』など全十二曲、九十分の演奏です。

演奏では様々な音色が館内に響き渡り、とても糸と紙コップのみで奏でられているとは思えないくらい美しいでした。さらに、身体表現も交えて、観る、聴く共に素晴らしい演奏でした。

プログラムの中の、各クラス代表がストリンググラフィを体験する場面では、みんな戸惑いながらも丁寧な指導のおかげで音を出すことができました。

普段あまり聴くことのできない演奏だったので、とても貴重な一日を過ごすことができました。

課題研究発表会

電子機械科

今年度の課題研究は次の七テーマが実施され、電子機械科の一・二年生の前で成果発表がされました。

「研究テーマ」

駐車表示板の製作

電子工作(時計・温度計)

ライントレーサー製作

ベンチ製作とマニユアル製作

ロボットバルーン

ファイト制作

立て看板制作

野球部の用品修理と

台車の制作

マシンングセンタによる

アクリル版加工

(発表順)

全ての班が『物をつくる』こ

とを課題とし、実施しました。

そのテーマは、生徒が主体的に

考えて取り組みました。

発表時には各班のテーマの決

定理由に『学校や電子機械科そ

して部活動で役立つ物を作りた

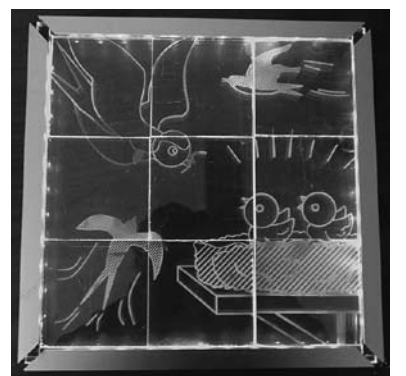
い』という動機が非常に多くあ

り、研究発表の様子から、各研

究班の個性が発揮され生徒一人

一人の成長を感じることができ

ました。



三年間の実習で得た知識や技術を活かし、多くの工作機械を操作し、小さな部品や大きな部品そして、様々な材料を加工してそれぞれの課題達成に向けて努力していた姿が印象に残っています。

課題研究は、一年生からの授業や実習で得た知識や技術を使い、ときには工夫をし、テーマを完成させることが目的であり、完成に至るまでの過程が大切です。三年生の成果発表をふまえ、個性豊かなテーマを考え、充実した課題研究になるように、知識・技術の定着に努力することを期待しています。

電気科

今年度の課題研究は十七テーマが実施され、電気科の二年生の前で成果が発表されました。「研究テーマ」で印象に残ったものを紹介します。

E3Aのバイクの製作では、古いエンジンのオーバードールから始め木製のボディは、完

成度が高くドイツのBMWイタリカで言えばアプリリア・アマゾンに匹敵するのではないかと思わせる様な仕上がりでした。ウッドストックを思い出したのほ私だけでしょか。

また、戦車の車体を利用したラジコンカーは、人命救助に役立つのではと思われるヒントを与えてくれました。

圧電素子の研究では、すでに東京駅で行われているかもしれないが、人通りの多いところで実際に実験してみると面白いかもしれません。

全ての班が『物をつくる』ことを課題とし、実施しました。そのテーマは、生徒が主体的に考えて取り組みました。

発表時には各班のテーマの決定課程には実生活や『学校や電気科そして部活動で役立つ物を作りたい』という動機が非常に多くありました。研究発表の様



課題研究発表会

子から、各研究班の個性が發揮され生徒一人ひとりの成長を感じることができました。

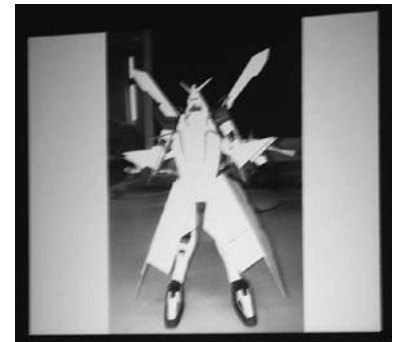
三年間の実習で得た知識や技術を活かし、小さな部品や大きな部品そして、様々な材料を加工してそれぞれの課題達成に向けて努力していた姿が印象に残っています。

情報技術科

平成二十五年一月二十五日に情報技術科三年生による、課題研究発表会が行われました。

今年も昨年同様に保護者の方が数名、見学に来られました。今年の研究発表は、テーマが十

四あり、同科の一・二年生も見学しました。三年生にとっては、自分たちが約一年間取り組んできた内容を、いかに他の人たちに伝えることができるかということに、大変苦労していたようです。また、一・二年生は、先輩たちの発表を聞き、来年、再来年度に自分たちにもきちんとできるのか、さらに、どんなテ



モデル製作

ーマにしようかと考えていたようです。

今年、十二月にコンピュータ室のサーバーが壊れるというアクシデントが起こり、バックアップをしつかりしていなかったため、今まで作り上げてきたデータが無くなってしまい、三年生は昨年以上に大変だったと思います。(すみませんでした！)しかし、逆境に強い三年生です。発表会に向けて、休日返上や夜遅くまで残ったりして、どの班もしっかりと発表ができたと思います。

最後に、三年生の皆さん、お疲れ様でした。そして、一・二年生の皆さん、来年度以降を楽しみにしております。

研究テーマ

- ・ 3Dゲーム制作
- ・ BSO 製作
- ・ LEGO
- ・ Ponytail? Yeah! Physics!
- ・ アニメーション制作
- ・ クアッドコプターの製作
- ・ たこ焼き器製作

- ・ ポップコーンマシン
 - ・ ラノベゲーム制作
 - ・ モデル製作
 - ・ アニメーション制作(トレス)
 - ・ 照明製作 party
 - ・ 資格取得
 - ・ ロボット製作
- 最後に、四月より新社会人になる三年生に自律六訓(評論家大和勇三氏)を話して終わります。

- 一・ 幼稚園に入った時の気分を新たに思い出すべし
- 一・ 仕事はすべて礼ではじまる
- 一・ スタイルでなく、仕事で自分を主張せよ
- 一・ 悲鳴をあげず、ため息をつくことなかれ
- 一・ 「面倒なことは俺にくる」などとボヤくな

一・ 限りなく普通のスタートと思え

以上、頑張れフレッシュマンたち！

建設科

今年度の建設科課題研究内容である、「福祉体験コースの制作」を紹介する。平成二十二年(二十四年度)の研究指定(千葉県福祉教育推進校)を受け、専門科目の知識・技術を活かした福祉体験施設(車いす体験コース)の計画・設計を経験し、職業人としての倫理観やモラルの向上を求めると共に、働く事への意識変化を観察し、充実した課題研究を通じた福祉教育を研究す

写真1は着工直後の建設地の状況である。土工班は建設機械と人力による掘削・抜根から始め、整地作業を行った。コンクリート班は緑石の製作を、測量班は丁張りを、そして施工班は緑石敷設・路盤工・転圧等の作業の工程を分担して作業を進めた。

資材購入資金の枯渇や、天候不良等があり授業内の完成はできなかったが、三年生の飯田空生君と鶴澤勇気君が授業後も積極的に残った作業を行って

れています。この後も年度内の完成を目指して、残った作業を進めています。



写真1 整地



写真2 現況

高校生ロボット相撲全国大会および
高校生ロボットアメリカンフット
ボール全国大会結果報告

ロボット相撲は、プログラムで動作させる「自立型」と、無線の送信機で操作する「ラジコン型」の二部門があります。大会は九つの地区大会があり、上位入賞したロボット各部門三十二台が全国大会進出となります。

今年度は関東大会で自立型二台、ラジコン型一台が優勝・上位入賞し、平成二十四年十一月二十五日にもつくり大学で行われた全国大会に出場しました。結果は自立型で情報技術科三年の佐藤伸樹君が第三位に入賞しました。

今年出場したロボットは新しく設計・製作したもので性能面は昨年を大きく上回るもの、重要な場面でマシントラブルに見舞われ、力を十分に発揮しないうまま大会を終えてしまいました。耐久性・信頼性を向上させることがこれからの課題です。

ロボットアメリカンフットボールは、五人一チームの団体競技で相手ゴールエリアへボールを運び得点を競う競技です。今年度も千葉県代表として平成二十五年二月十七日にパシフィック横浜で行われた全国大会に出場しました。

へ進出します。初戦は香川県立多度津高校と対戦し、拮抗した試合展開でしたが最終押し込まれ五対七で敗戦。二戦目は東京都立足立工業高校に七対〇でコールド勝ち、三戦目は栃木県立真岡工業高校に八対一でコールド勝ちしましたが、リーグ二位で予選敗退となりました。

敗因は、ロボットの性能差はほとんど無いので相手との練習量と経験の差だと考えられます。ロボット相撲の大会日程の関係で取り組み始める時期が十二月くらいと遅いので、両方の競技を並行して行える部の体制を作り、練習試合等で実戦経験を積む機会を多く取り入れ、全国大会で勝負できるチームに育てていきたいと思えます。

国家技能検定合格者

- 測量士補
 - P3 加瀬 穂波・竹内 洋子
 - P3 塚本 愛香
- 2級建築施工技術者試験
 - P3 大野 翔子・加瀬 穂波
 - 木村さやか・塚本 愛香
- 2級土木施工技術者試験
 - P3 倉嶋 秀鳳・内藤美栄子
- 2級機械加工(普通旋盤作業)
 - M3 古関 智洋・八馬 聖
- 3級機械加工(普通旋盤作業)
 - M3 山下 宇則

- M2 秋葉 和希・石毛 大智
- 伊藤 祐貴・加瀬 匠一
- 勝野 祐輔・小林 大也
- 地下 拓也・月岡 隼人
- 林 宙輝・古川 拓磨
- 吉田 将之

第58回青少年読書感想文
千葉県コンクール

- 課題読書の部 優良賞
 - 「ダーウィンと出会った夏」
 - I1 川口 遼

第29回千葉県総合技術
コンクール受賞者

- (測量部門)
 - 優良賞 P2 小倉 正人
 - (ロボットコンテスト部門)
 - 優良賞 M3 木内 友也
 - 努力賞 M3 古関 智洋
 - 努力賞 M3 佐藤 良

- (機械設計製図部門)
 - 教育長賞 千葉県立東総工業高等学校
 - 優秀賞 M1 加瀬 啓樹
 - (電子回路工作部門)
 - 優秀賞 I3 宮崎 兼多
 - (計算技術部門)
 - 優秀賞 I3 林 孝亮
 - 優良賞 I3 伊藤 智子

第48回卒業生表彰者

- 財団法人産業教育振興中央会表彰
 - I3 林 孝亮
- 千葉県産業教育振興協会表彰
 - M3 八馬 聖
 - E3B 内田 雄太
 - I3 伊藤 智子
 - P3 加瀬 穂波

- 全国電子機械教育研究会生徒表彰
 - M3 佐藤 祐輔
- 関東甲信越地区機械工業教育研究会表彰
 - M3 山下 宇則
- 関東甲信越電気教育研究会表彰
 - E3A 大和田隆次
 - I3 山崎 拓真
- 全国情報教育研究会生徒表彰
 - I3 佐藤 伸樹
- 東日本建築教育研究会表彰
 - P3 内藤美栄子
- 東日本高等学校土木教育研究会表彰
 - P3 倉嶋 秀鳳
- 全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰(ゴールド)
 - M3 古関 智洋・八馬 聖
 - 山下 宇則
- E3A 大和田隆次
- E3B 菅谷 亮太
- 全国工業高等学校校長協会ジュニアマイスター顕彰(シルバー)
 - M3 木内 友也・越川知恵美
 - 鈴木 雄大・三浦 凌吾
- E3A 佐藤 澄空
- E3B 飯嶋正一朗・小川 貴史
- 加瀬 功貴
- I3 飯嶋 省吾・佐藤 伸樹
- 山崎 拓真
- 工業技術顕彰千葉県高等学校工業教育研究会会長賞
 - M3 伊藤 元彦・勝部 翔馬
 - 木津 雄介・柴田 亮
 - 中嶋 一生・林 和希
 - E3A 来栖 寛幸・向後 雄太
 - 越川 喜光・塩田 将司
 - I3 林 孝亮
- 高校生新聞社賞
 - M3 八馬 聖

- 匠瑳市教育委員会表彰
 - M3 古関 智洋
 - I3 佐藤 伸樹
- 旭警察署管内小学校警察連絡協議会善行生徒表彰
 - M3 林 和希
 - E3A 佐藤 大亮
- 財団法人千葉県高等学校野球連盟優秀選手賞
 - I3 山口 諒
- 千葉県高等学校体育連盟柔道専門部功労賞
 - P3 金原 航介
- 3力年皆勤賞(14名)
 - M3 木内 友也・木村 駿作
 - 越川知恵美・斉藤 和輝
 - 柴田 亮・保科 陽弘
 - 松岡 雄基・山下 宇則
 - E3A 高橋 和也
 - E3B 石井 勇祐
 - I3 網中 和希・佐藤 伸樹
- P3 関 菜摘
- 千葉県立東総工業高等学校部活動功労賞(12名)
 - バレーボール部
 - M3 木津 雄介・青柳 隼人
 - 石毛 豪
 - M3 斉藤 和輝・渡邊 綾太
 - E3A 鍋田 雅人・高根 大和
 - E3B 飯田 耕平・柏熊 隆成
 - I3 林 孝亮
 - M3 越川知恵美
 - 機械情報部
 - I3 大久保維人
 - 漢字テスト成績優秀者(6名)
 - E3A 大和田 隆次
 - E3B 内田 雄太・平山 直央
 - I3 伊藤 智子・三上 将明
 - P3 木村さやか